

第1回 長岡京市緑の基本計画策定委員会 会議録

開催日時： 令和6年8月27日(火)午前10時30分から午後12時00分
開催場所： 長岡京市役所 新庁舎4階 会議室402
出席委員： 森本委員長、宮前副委員長、平野委員、山本委員、吉岡委員、藤井委員、田中委員、
志水委員、所委員
【以上9名】
欠席委員： 小山委員、鞆岡委員
【以上2名】
幹事： 能勢総合政策部長、碓環境経済部長、中島教育部長、日高建設交通部長
【以上4名】
傍聴者： 1名
事務局 〔公園緑地課〕 鈴木課長、八木課長補佐、山本課長補佐、耳川主査
配布資料：
・次第
・資料1 策定方針
・資料2 みどりの現況及び主要プロジェクトの進捗状況
・資料3 アンケート調査(案)
・委員会名簿
・委嘱状
・配席図
・都市緑地法等の一部を改正する法律(概要)

会議記録

1. 開会
2. 委員の委嘱及び委員の紹介
3. 市長挨拶
4. 委員長、副委員長の選出
5. 議事
 - (1) 長岡京市第2次みどりの基本計画 策定方針
 - (2) みどりの現況及び主要プロジェクトの進捗状況
 - (3) 市民意識調査 アンケート調査票(案)

事務局:	(資料1、2、3について説明)
委員長:	資料1について、質疑、意見等をお願いする。
副委員長:	「都市緑地法等の一部を改正する法律(概要)」について、都市農地をもっと活用していかうという動きがある。市内に遊休農地がどの程度あるかは分からないが、重要な空間としてうまく活用する仕組みが出てくると良いと考える。 都市公園以外の小さな広場も、市民の活動や景観形成の核となっているので、この2つを新たな計画にも位置付けてほしい。
委員長:	都市農地の話は重要であり、前回の中間見直し時は、高速道路が整備され竹林がなくなるという話もあり、それに加えて、面積的に生産緑地が減少している。 生産緑地は継続して農業をやっていく、ということで税金が安くなる。ただ、主たる従事者がいなくなることによって、市に買い取ってほしいと言えるが、市は予算がなく買い取れず、その結果、宅地に変わっていくという残念なことがある。一方で、人口を増やすということも市の発展にとって重要である。このあたりの折り合いをどうつけていくか、重要な課題。考え方によってはうまく活用する仕組み、政策として組み込める。 私は、大雨が降った時に排水処理できるような雨庭を推奨しているが、農地があればその機能を果たすことができる。今後も農地として機能するためにはどうしたら良いか。市民緑地をどのように行っていくのか、新しい視点なので何か取り組みができないかと思う。

委員長:	資料2について、質疑、意見等をお願いする。 長岡京市のみどりのサポーターが多いようだが、秘訣はあるのか。
委員:	なぜ増えていったかと言うと、制度の入りが良かった。いつでも参画して良いし、いつでも辞めて良いという参画制度となっている。最低2人で近所の公園を維持管理できるため、気軽な気持ちで参加してもらえる。気軽にというのが良かった。 ボランティアであるが、緑の協会で保険に加入し、鎌などの器具も提供している。 手ぶらでいつでも気軽に参加でき、いつでも辞められる制度になっており、平成16年に考えられたシステムが今もそのまま問題なく生きているということは、この入りが良かったのだと考える。

委員長:	そういうノウハウを活かしながら、例えば利用ニーズが低い空間などに、この辺りの取組みを活かせないかなと思う。事務局に補足説明をお願いする。
事務局:	住宅開発時に条例で公園をつくることを定めており、それを都市公園として市で管理することになっている。開発ごとに整備されているが、その多くがミニ公園である。ミニ公園は魅力的な遊具がなく遊んでくれない。子どもが遊ばないと草が生えて、さらに使われなくなっているという現状がある。
委員長:	せっかく提供してもらった公園をどのように使うか。ミニ公園を活用している事例はありそうか。
副委員長:	全国的に、開発に伴うミニ公園が使われない課題がある。地域の方々と話し合うことで解決している事例はある。周辺に農地がある場合は、農家の方がそこに来て週に1度マルシェを実施したり、リサイクルマーケットをやったり、子どもが遊ばなくても市民の方が地域のニーズに応じて使っていける仕組みを作っている。 そのためにはサポートする人が必要である。行政ではそれはなかなか難しい面があるため、まちづくりサポーター的な、やりたい事をやりたい人達が集まってやるという、ゆるやかなルールができればいいと思う。京都市でもちびっこひろばという制度を活用している事例があるので、調査してほしい。
委員長:	その他、資料1、2について、質疑、意見等はどうか。
委員:	資料1について、計画策定の視点が3つあり、今後の取組が7つある。その7つの進め方のスケジュール表があるが、計画策定の視点と今後の取組のつながりが良く分からない。今後の取組が何のためにやっているのかというのを整理すれば分かりやすくなると思う。 視点があって目標があるならば、それに対してどういう解決法を持っていくか、という資料の作り方の方が分かりやすかったと思う。また、スケジュール表も簡易版と詳細版があるが、よく見たら中身がイコールではないなど、関係性が良く分からないため、分かりやすくしてほしい。 資料2に整理されている進捗状況についても、何の進捗状況なのか分からないので整理してほしい。
事務局:	資料については関連性、つながりなど全体像が見えにくいような形になっているので、次回以降で整理する。 なお、視点については、計画策定の全体に関係することであるが、大きくは今後の取組「④計画の目標、方針の設定」、「⑤施策事業等の体系的な整理」、「⑥重点プロジェクトの検討」に関係があり、計画目標とか方針設定に①の視点を加えて検討し、それが決まったら具体的な施策・事業を検討していくような流れになる。今後の取組①～③については、その検討のための現況等の調査となっている。 スケジュールについては、整合性を確認し、次回以降修正したものを提示する。
委員長:	長岡京市みどりの基本計画改訂版(現行計画)の概要版がお手元にあるか。このような内容で前回は取りまとめたという事で、今回は、この計画の新しいものを更新しようという趣旨である。

	計画の構成としては、まずみどりの現状と課題があって、将来像・基本方針、様々な施策・主要なプロジェクトがある。資料2の主要なプロジェクトの進捗状況は、この主要なプロジェクトをどのように示していくかということであり、前回からの課題ということで、強み・弱みなどを取りまとめている。 今後、このような内容を参考に、新しい計画を検討していく。
委員長：	資料3について、質疑、意見等はどうか。
副委員長：	市民の方が答えやすい仕組みとして、オンライン回答ができるのは良いと思う。 今はアンケートで性別を聞かないことも多くなっており、男女の分析が必要でなければ検討していただきたい。 問8の選択肢「5. 生垣・庭木・バラなど宅地のみどり」とあるが、長岡京市は結構庭園があるため、「庭園」を追加してはどうか。
委員長：	アンケートする機会はなかなかないため、気合いを入れてやると良いと個人的に思う。 問18で選択肢に文字だけではなく、素晴らしい公園の事例イメージ等をつけて紹介するのはいかがか。文字ばかりの調査票ではなく、みどりに囲まれて美味しいごはんを食べているカフェレストランなど、みどりのあり方は多様であるため、国交省資料のようにイメージを伝えられると良いと思う。
委員：	問7「みどりの量」の説明文が選択肢の下に記載されているが、上に記載した方が回答者には分かりやすいのではないか。 問 17 は選択肢がそれぞれ4つあるが、「考えたことがない」人もいると思われる。その項目を加えたほうが良いのではないか。回答の傾向で、市民が注目しているかいないのかが分かる。意外と、バリアフリーも日頃考えたことがないという意見も多いのではないか。そういったものを項目として入れたら、今後、何かしらの参考になるのではないか。
委員：	20 年前の計画策定の際にもアンケートを実施したのか。 できれば、傾向や市民意識の変化を把握するという趣旨で、前計画の策定時と比較できる設問があれば良いのではないか。
事務局：	当初は個別でアンケート調査は実施せず、総合計画の市民意識調査から緑に関する市民意識を大まかに把握し、基本計画が検討された。
委員長：	貴重な意見であると思うが、残念ながら比較することはできない。 問13は面白いと思う。みどり、公園に対して市民がどう認識しているかを把握できる。みどりに関する国民意識調査という何十年も続く、国が実施している意向調査があり、昔は木が大事で木の生産数などが重視されていたが、近年は、二酸化炭素の吸収や防災など、そのような期待が高まっており、そういった事を把握するのに良いと思う。他の自治体で似たような調査項目があれば、その結果がどのような傾向かというのを把握していただきたい。
委員：	市の北部では、高い建物がなく、西山が見えたり、みどりの感覚はあるが、近くに公園がほとんどなく、子どもも道路で遊んでいる状況である。市役所を中心と考えた時に、

	大きな公園があるのは市の南部であり、公園の配置に関しても検討してほしい。北部の子ども達は、遊び場所が学校の校庭や道路になっている。
--	---

6. 閉会

事務局：	今後のスケジュールとして、本日のご意見を踏まえながら、引き続きみどりの現況調査を進め、結果の分析・課題の整理を行っていく。 また、市民の意向を把握するべく、アンケート調査を9月下旬より実施予定である。 なお、次回の委員会については 11 月頃を予定している。また改めて、連絡させていただく、よろしくお願いします。
------	---

以上